

ようこそ相鐵へ。新しい仲間を紹介します。

①自己紹介 ②趣味 ③大変と感ずること ④先輩へのメッセージ ⑤今後の抱負 ⑥初任給の使いみち



嶋田亜悠美 総務部

①野球が大好き! 野球の話をしてるときが一番楽しいかも。 ②野球観戦です。特に読売ジャイアンツ。 ③学校よりも一日が早く感じます。朝が早く、朝がツライ... ④一日でも早く仕事に慣れるよう、ご指導お願いします。 ⑤みんなから頼られる人になりたい。 ⑥両親へのプレゼントです。



田所智成 配達部

①肌は黒いですが、腹黒くはございません。田所と申します。 ②お酒とスポーツが好きです。サッカーは今でも続けてます。 ③重量物を扱うので、ケガなどが心配です。 ④名前と顔を覚えて下さい。 ⑤一日でも早く、チーム相鐵の一員となりがんばりたい。 ⑥洋服を買いたい

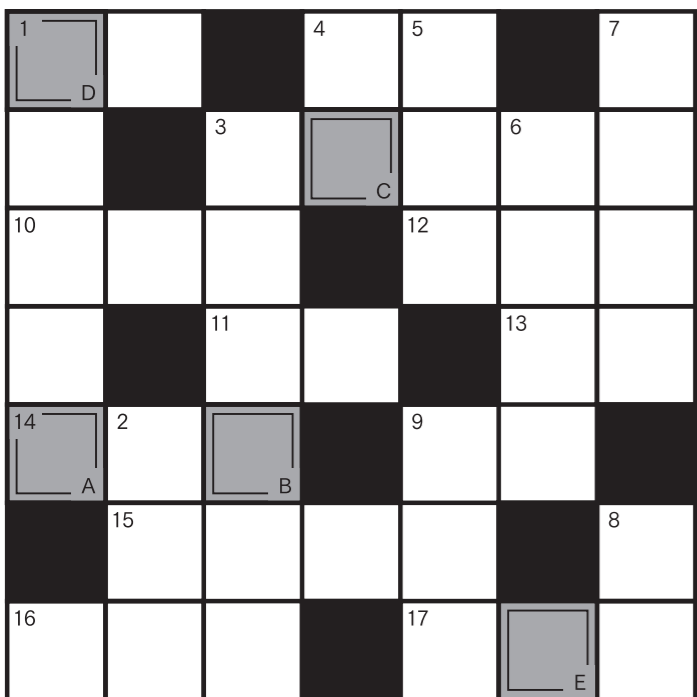
TOPIX

地元ケーブルテレビ局JWAYの人気コーナー「Hola! サタデー」に出演した三村社長。相鐵入社までの経緯、仕事や社員に対する思いを“熱く”語っていました。



懸賞鐵クロスワードパズル

正解者の中から抽選で流しそうめん器を3名様にプレゼント! LET'S TRY!



ヨコのヒント

- ①○○を自由に飛びたいな〜
- ③先輩として新入社員に○○○○○をする
- ④総務部は相鐵の○○である。
- ⑤秋に美味しい丸い果物
- ⑥計画を立てること。
- ⑦地図記号で表すと「田」
- ⑧日本の特別天然記念物に指定されている球体の緑藻は?
- ⑨手術をする時に使う刃物は?
- ⑩変化する状況、苦しい○○○に遭遇する
- ⑪グローバル化が進む世の中、○○○○を学習する
- ⑫頑張れば見えてくるはず!
- ⑬ビンゴゲーム! ○○○になった人は手を挙げて!

タテのヒント

- ①沖縄料理のひとつ。種類だよ!
- ②名前の一覧リスト
- ③梅雨の時期の天気。
- ④○○○○○が続く
- ⑤アメリカの大統領の名前は?
- ⑥チャーハンを別の呼び方でなんと?
- ⑦秋に咲く、ピンクなどのきれいな花
- ⑧くまのプーさんの天敵は?
- ⑨春は別れの季節。○○○○惜しい。

家族も子供も大喜び間違いなし!
日本の夏を楽しもう



流しそうめん器“風流”

解答欄

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

A~Eに当てはめて言葉を完成させよう!!
ご応募は左記方法にて受け付けます。

応募締切日

6/17(金)

前号の答え すたじあむ

た	あ	け	ま	し	て
こ	え	つ	う	ち	
あ	ん	な	い	ふ	く
げ	ま	あ	く	む	
し	す	い	し		
び	ら	つ	い	ん	ず
か	が	み	も	ち	れ

解答は住所、電話番号、お名前をご記入の上こちらまでお願いします。(担当・平山)
MAIL sayuri.hirayama@soutetsu.jp (24時間受付) FAX 0294-33-2632 (24時間受付)
TEL 0294-33-2005 (午前8:00~午後5:00 土日・祝日を除く)

1週間限定
ガス切断
5%割引
※対象期間6/13(月)~6/17(金)内のご注文に限ります。
※詳しくはホームページをご覧ください。

ちょっとひと息 編集後記

第4号の相鐵新聞はいかがでしたでしょうか。「相鐵アワード2016の結果を早く知ってもらいたい!」そんな思いで作りました。何気ない日常を過ごしていると、人を褒めたり褒められたりする機会ってあまりないと思いませんか。自分の子供に対しても素直に「おめでとう。よくがんばったね」って言えてるのかなって。このアワードも、本当に頑張っているからこそ受賞であって、受賞者には素直に拍手を贈りたくなる。そんな時間を久しぶりに過ごせた気がします。

あと、毎月行っている割引キャンペーン。こんなあったら助かる!や、こんなやってみてよ!など、お客様からのご意見も聞かせて下さい。色々なお客様に喜んでいただけるものになりたいと思っていますので。もちろん、相鐵新聞に出たい!こんな企画どうよ!でもOKです! (笑)。どんなことでも結構ですので、ご意見お待ちしております。



【相鐵新聞】No.004-2016
2016年6月発行
編集長 丸藤 秀則
相鐵株式会社
〒316-0004
茨城県日立市東多賀町5-19-10
編集部 Tel 0294-33-2005
Fax 0294-33-2632
URL www.soutetsu.jp

SOUTETSU PAPER

2016 04

“あなたのこたえを、あなたと見つける”。そんな思いで相鐵新聞



相鐵アワード2016、悲願の初受賞までの軌跡を追う

今年も開催された「相鐵アワード」授賞式。例年通り、昨年目覚ましい活躍をした社員に贈られるこの賞。2016年受賞者は、営業部の野内一幸。営業部に配属になって6年、日々積み重ねてきた努力が報われた一日となった。「チーム相鐵の最前線に立ち、点取り屋のイメージとして力を存分に発揮してくれたと思います。本当におめでとう」と三村社長から賞状の言葉をもらった。授賞式に上がり、受賞トロフィーを掲げた彼の顔はとても誇らしかった。そして彼はこう語った。「賞状やトロフィーだけではなく、この仕事に関わってくれている仲間やお取引先の皆様のおかげだと思っています。その結果がこの受賞に繋がったと確信しています」と。2016年、さらなる飛躍を期待させる一年になる予感がする。

今年も開催された「相鐵アワード」授賞式。例年通り、昨年目覚ましい活躍をした社員に贈られるこの賞。2016年受賞者は、営業部の野内一幸。営業部に配属になって6年、日々積み重ねてきた努力が報われた一日となった。「チーム相鐵の最前線に立ち、点取り屋のイメージとして力を存分に発揮してくれたと思います。本当におめでとう」と三村社長から賞状の言葉をもらった。授賞式に上がり、受賞トロフィーを掲げた彼の顔はとても誇らしかった。そして彼はこう語った。「賞状やトロフィーだけではなく、この仕事に関わってくれている仲間やお取引先の皆様のおかげだと思っています。その結果がこの受賞に繋がったと確信しています」と。2016年、さらなる飛躍を期待させる一年になる予感がする。

①各部門の業績と目標
社内各部門の代表者が発表



②営業部の6人、インテリ
壇上には、営業部の6人が並ぶ。



③営業部 鈴木信慶のプレゼン
新規事業をプレゼン！



④いわき精機様対談
会場にお越し頂いた3名の皆様



⑤三村社長
今年のスケジュールと目標を語る



⑥技能賞受賞者の3名
おめでとうござります。



日本時間2月29日、映画の祭典である第88回アカデミー賞の授賞式が米ハリウッドのドルビー・シアターで行われた。今年は、レオナルド・ディカプリオのオスカー受賞で幕を閉じたのも、まだ記憶に新しいところ。そんな海の向こうの盛り上がりとはほぼ時期を同じくし、3月18日に行われたのが「第2回相鐵アワード授賞式」です。日本を代表する授賞式になったとかならないとか。そんな噂がちらちらと駆け抜ける中、今年もこの日立て盛大に行われた模様をレポートしたいと思います。

13時30分、青い作業服を着た男達がホテル会場内に続々と入ってくる。年に一度の受賞式だからといって気取ることなく、普段通りの自然体で臨むのが相鐵スタイル。相鐵はあくまで「街の鋼材屋さん」。青い作業服に誇りを持っているからこそ出来ることではないでしょうか。「赤いブルーカラー」、これがチーム相鐵の一体感の源になっていると思います。昼食はバイキング形式で、ホテルが用意してくれた温かい料理の数々に舌鼓を打ちながら開始の時を待ちます。会場照明が暗くなり、ムードを盛り上げる音楽が鳴る。さあ、いよいよ相鐵アワード2016の始まりです。

相鐵では業務の流れを「鉄のリレー」と呼んでいます。「営業」「総務」「設計」「製造」「配達」。この5つの部門から相鐵は成り立ち、仕事のバトンを繋いでいます。そんな各部門の代表者から、昨年の実績・本年度の目標発表から今年のアワードはスタートしました。各部門が抱える課題点、それらを改善していこうとする姿勢。昨日より今日、今日より明日。そんな、「より良くなるう」とする熱意が伝わってくる内容でした。大きな会社には出来ない小回りを最大限に活かした改善こそが、相鐵の強みなのだ改めて感じ、考える良いきっかけになったと思います。続いて壇上には相鐵のフォワード、営業部のメンバーが勢ぞろい。今年上半期の目標・現在進行中のミッションを社員の前で発表しました。相鐵の先頭に立って、「向かい風の中を前に進んでいく。自分の考えを他部門の前で話す機会はありません。貴重な時間だったと感じました。この様な他部門との交流を今まで以上に活性化させていくことも重要だと社員全員が感じたはず。会社の売上アップを至上命題に、今年も相鐵のフォワードとして走り回る6人に注目して下さい。

新規案件の概要説明をコミカルに、そしてわかり易く説明するのは営業部 鈴木信慶。昨年、福島県に設置される大型タンクの受注をした。相鐵はこれまで、「鉄を切る・曲げる」ことを一貫して行ってきた。だが、この案件では製缶図面を一括受注し、製缶屋と発注元とを繋ぐパイプ役を担うという初の試みを行ったそうです。この様なトータルプロデュースを行なうのは、本人にとっても会社にとっても未知の経験。「日々、大変なプレッシャーとの闘いだった」と鈴木。納期調整から問合せへのきめ細かな対応、目まぐるしい日々が過ぎていったのだとか。「病院へ通院するはめになりました(苦笑)。そんな甲斐があって収益はプラスでした。最後までやり遂げた達成感言葉では言い表せません!」。一回り大きく成長した自分があると話していました。さあ、ここでちょっと休憩です。ここまで1時間30分。日常の雰囲気とは違う空間での授賞式。時間もあっという間に過ぎていきます。さあ、会場も次第に盛り上がり上がった所で後半戦のスタートです。

株式会社いわき精機様より、國井幹司郎社長、國井吉至郎部長、布谷CAセンター統括の3名様にお越し頂いて、相鐵社員の前で貴重なお話をしてもらいました。日頃、取引先の方と接することが少ない現場社員にとっては、とても刺激になったのではないのでしょうか。次のページでは、國井社長へのインタビューを掲載。経営者としての考えや、震災の話などを語っていただきましたので、是非ご覧下さい。

三村社長からは、2016年度の目標が発表されました。「お互いの情報を共有し、思いやりを高める」。これが相鐵社員1人1人の目標です。各部門の話題で言えば、製造部へのレーザー切断機2基の更新導入(8月)。製造効率を上げ、よりお客様に満足いただける様にとの想いを込める。配達部は1名増員し、配達スケジュールをよりスムーズにする。総務部では、ベテラン社員2名が産休より復帰。お客様への対応力UPを計る。設計部では、新CADシステムを導入し、作業効率UPを目指す。営業部では、付加価値のある案件を掘り起こすことで、新たな販路拡大を目指す。今年もよりパワーアップすること間違いなし。お客様への期待に応えたい一心で前に進んでいく相鐵の決意表明でもあります。

今年から技能賞が設けられました。日々技術を磨く社員へ対する名誉ある賞です。本日のメインイベント。「相鐵アワード2016」発表の時間となった。軽妙な音楽が流れ、プレゼンターが壇上へ。会場のライトが暗くなり、ドラムロールが流れる。いよいよその瞬間が訪れた。「本年度受賞者は…、営業部 野内一孝!」。一斉にクラッカーが鳴らされ、会場内には、どよめきと拍手が入り交じったのを覚えています。三村社長から野内に受賞フィギアが手渡され、会場からはさらに大きな温かい拍手が送られた。この瞬間のため、1年間走り続けたと言っても過言ではないでしょう。受賞スピーチでは、「本当にうれしいです」と語っていた野内。受賞の想いなど、次のページで詳しくインタビューしてきます。

今年も幕を閉じたアワード授賞式。来年は一体誰の手に! 来年も楽しみにお待ち下さい。現場から、丸藤がお伝えしました。

「相鐵アワード2016」授賞式をレポート!!!



野内一孝、相鐵アワード受賞の想いを語る

「みんなの力」でつかみとった初受賞

社長 × インタビュー Vol.4

いわき精機 國井幹司郎社長が経営者にとって大切なものとは

今回は、株式会社いわき精機代表取締役 國井幹司郎社長にインタビュー。福島県いわき市、好間工業団地に本社を構える。近隣の3工場を軸に、設計から製作・組立・据付けまでを一貫して行なう「ワンストップサービス」が最大の強み。従業員数はおよそ150名を数える。今年のアワードに際し、福島県いわき市から駆けつけてくれた。國井社長とは三村も中国出張や新規事業見学に動向し、お互いに強い刺激を受けているという。三村はこう語る。「すべてが大きな方。同じ経営者として國井社長に少しでも追いつきたい」と。年の瀬に入る12月初旬には、お互いの一年を振り返る意味で忘年会をする中でもある。そんな國井社長にまずはこの質問をしてみた。経営者として大切にしていることは、「自分が大切に思うのは、“決断力”だと思っています。あとは、従業員の大切さですかね。会社のトップとして常に決断を迫られる状況が続く。最善策を模索し、良い方向

へ導いていく力こそが経営者に求められるのではないだろうか。また、國井社長は従業員を大切にされる方でもある。従業員を家族と捉え、仕事がやり易く居心地の良い会社にしてほしいという。ライフワークバランスという言葉があるが、仕事とプライベート、社員のモチベーションを高く保つことの重要性を常に考えているのだ。昨年、神奈川県にある会社を経営統合。この決断も「吉」と出たようだ。「当初は赤字でしたよ(笑)。でも何だかんだで黒字化出来ました」と話す。弱点を補強し、より会社を強化していく。この行動力こそが、震災からの復活をより力強く加速させたのは間違いのないのではないだろうか。酸洗板材の注文から始まったお付き合い。今では毎日のようにいわき市までトラックを走らせることが出来ている。これからも良い意味で、お互いを高め合う関係を築いていけたらと思える会社。それがいわき精機様である。



國井幹司郎代表取締役 プロフィール
1969年、福島県いわき市に生まれる。大学卒業後、某建材メーカーの営業を経て1996年に(株)いわき精機に入社。入社後は営業を担当。その後取締役専務を経て、2012年に代表取締役社長に就任。現在に至る。



製造部
大森 勇&
翔太(しょうた)くん / 11ヶ月



営業部
森 太郎&
柚菜(ゆま)ちゃん / 9ヶ月



製造部
西山 伴&
結心(ゆうしん)くん / 7ヶ月



製造部
小沼 匠&
蒼(あおい)くん / 2ヶ月



製造部
佐藤 洋平&
陽輝(はるき)くん / 1ヶ月

みんな、パパとママのどっちに似てるのかな? すすすすく育ってネ!

相鐵のイクメン

前に進む為に必要な力、推進力。その力が人一倍強いのが今年のアワード受賞者である、野内一孝だ。会社への貢献度は高いながらも、あと一步受賞には届かなかった去年。悔しい思いをしたからこそ、今回の受賞の意味は大きいだろう。受賞後の心境や、大切にしていることなどを語ってもらった。(※インタビューはイ、野内は野と表示)

イ: 受賞おめでとうございます。率直な感想をお願いします。
野: 正直、自分でいいのになって感じですかね。もし、昨年一年間の結果が評価されたのだとすれば、自分だけの力だけでは無理だったわけ。相鐵の仲間達に感謝の気持ちでいっぱいです!
イ: 受賞前後で、心境の変化はありますか。
野: アワードを受賞したからには、今の自分より更に成長しなくてはいけない。良い結果を残さないといけない、というプレッシャーの中で仕事してますよ(笑)。でも、これは通過点だと感じます。これがゴールではありませんから。
イ: 設計部から営業部へ配属になり、その頃から「今の自分」は想像できましたか。
野: 想像なんて出来るわけないですよ。営業は本当にやりたくなかったんですから。図面と格闘し、CADを描いている方が自分向きだと思ってましたし…。配属後はなかなか結果に結び付かなくて、よく社長に反抗してましたね(笑)。

イ: お客様とのコミュニケーションで大切にしていることはありますか。
野: 得られる情報は得ること。営業の基本だと思います。あとは、お客様と色々な話をする中で、どれだけ笑顔で話せるか、印象に残せるかを大事にします。
イ: 最後に、これまで以上に活躍するならば何が必要だと感じますか。又、今後の抱負もお願いします。
野: お客様に対して、より付加価値のある製品・情報・対応などをどれだけ提供できるか。そこが重要になってくると思ってます。それと、新しいお客様との繋がりも必要ですかね。お客様の声に耳を傾け、この相鐵をより良いものにしていける様に、全社員で頑張ってください!

